

平成 29 年度 学融合レクチャー 授業案内

科目名: 大学教員を目指す人のための教育の方法・技術

単位数: 1 単位

使用言語: 日本語

1. 授業概要

皆さんの中には将来、大学教員になりたい人も多いと思います。学校教育法で大学は「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させる」と定義されていることから分かるように、大学教員には研究力とともに教育力が求められます。このため現在、多くの大学で教員公募の際に担当予定授業の模擬授業実施やシラバス(15 回分)執筆を求める例が増えてきています。しかし、授業のやり方などを体系的に学ぶ機会は総研大ではこれまでほとんどありませんでした。

本授業は大学等の教員として授業をすることを目指す方を対象に、基礎的な教育方法論・授業論を学び、授業を通じて自らの研究成果を効果的に教授していくための知識・技術・態度を身につけてもらうことを目的としています。授業は講義と演習で構成します。事前に自らの研究を基にした授業計画草案を持ち寄り、授業論に関する講義等を受けた後、飯田市の市民の方を対象とした授業計画案作りあげ、実際に授業を行ってまいります。

将来大学の教員になりたい人、自分の研究を授業という形で伝えたいと思っている人などの参加をお待ちしております。

2. 履修条件

- 大学等の教員として授業をすることを目指していること
- 履修登録時に下記 6 のテーマに沿ったトピック(仮でも可)を添えて提出すること
- 事前課題に取り組み、期日までに提出することができること(下記 6 を参照のこと)
- 集中講義全日程に参加できること(下記 3 および 5 を参照のこと)
- グループワーク等に積極的に取り組めること

3. 開催日時 (集中講義)

2017 年 9 月 21 日(木), 22 日(金), 23 日(土)

4. 開催場所

長野県飯田市 (JR 飯田駅周辺)

5. 授業スケジュール

6 月 30 日 履修登録締切

7 月 1 日 事前課題を提示

* 60 分完結型の授業シラバス

* 上記授業の授業案(講義)

8 月 4 日 事前課題提出締切

(この間、担当教員によるチェックが行われます)

8 月 25 日 各人設定されたテーマによる学習(参考図書, e-learning, メール等)

9 月 15 日 授業実施案提出締切

9 月 21 日-23 日 対面授業

- 9 月 21 日の集合時刻: 13:30 (集合場所は履修登録締切後に連絡します)
- 9 月 23 日の解散時刻: 14:00

- ※ その他詳細については履修登録者に個別に連絡します。
- ※ 総研大の学生には旅費の支給があります(別紙1参照)

6. 事前課題について

事前課題は「ノーベル賞を素材に自然科学・社会科学・人文科学の基礎的な知識を教える」をテーマに自らの専門に近い分野からトピックを選択し、高校生以上の一般受講者に向けた60分の講義として内容を考えてください。たとえば「川端康成のノーベル文学賞受賞スピーチの文学史的受容」「イグノーベル賞受賞スピーチにおける言語行為」「オートファジーとは何か」「私取るノーベル賞の研究内容」など、分野・対象・方法論を問いません(第1回締切 8/4)。なお、受講を希望するが、トピックが思いつかない場合は、下記担当教員連絡先までご相談ください。

この授業は集中講義の他に、遠隔での指導や個別学習等があります。8月4日の最初の課題提出の締め切り後、実際に授業をするために授業案のブラッシュアップを行ってもらいます(第2回締切 9/15)。そのため、事前課題については2回の締切を提示しています。

7. 参考図書

- 稲垣忠・鈴木克明(2015)『授業設計マニュアル ver.2 - 教師のためのインストラクショナルデザイン』北大路書房
- 小川哲生・菱山覚一郎(2006)『教育方法の理論と実践』明星大学出版部
- 平沢武(2014)『教育の方法と技術』図書文化社

8. 問い合わせ先

a. 授業の内容に関すること

担当教員: educational-method@googlegroups.com (下記授業担当教員全員に届きます)

菊地浩平(学融合推進センター), 七田麻美子(総研大本部), 大石雅寿(天文科学専攻), 木村暁(遺伝学専攻)

b. 授業の参加申し込みに関すること

学融合推進事務室総務係: cpis-office@ml.soken.ac.jp